

## 万博での躍進

1851年のロンドン万国博覧会(以下、万博)に、フィセルはシノワズリの花蝶文のディナーセットを出品しました。この花蝶文を気に入ったヴィクトリア女王からディナーセットの注文を受け、さらにこれが1等賞となったことで、ヘレンドの名は一躍ヨーロッパ中に広がります。そして、この色鮮やかな東洋風の花蝶文は「ヴィクトリア」(fig.2)と呼ばれ、ヘレンドを代表する文様の一つとなったのです。その後もヘレンドの製品は毎回の万国博覧会で受賞を重ね、高い評価を保ち続けました。

## 東洋磁器に学んだ技術とモチーフ

「ヴィクトリア」の成功は、西洋式の器に東洋風の文様をアレンジして描いたことにあります。この時期のフィセルは、ヨーロッパの名窯に学ぶだけでなく、東洋の磁器からも様々な着想を得ていました。例えば「魚藻」文(fig.3)、「伊万里」様式、「広東」様式などです。また、各種の東洋的な要素を組み合わせて独自の構成とした「皇帝」文(fig.4)、「京都」文、「ゲデレー」文など他に例を見ない文様もあります。「ウエールズ」(fig.5)は、中国磁器にモデルがあり、マイセンでも似たものが作られましたが、透彫りの繊細さ、色彩の鮮やかさなどで独自の進化を遂げており、ヘレンド窯ならではの見事な意匠となっています。また、これらの特徴ある文様や技法には、しばしば縁のある顧客の名がつけられたことも、独創的で他にはない発想でした。例えば「ウエールズ」は、1873年のウィーン万博でオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世が大英帝国皇太子(プリンス・オブ・ウエールズ)へ、この装飾のディナーセットを贈ったことに由来します。このようにして生み出された数々の作品はヨーロッパの多くの王侯貴族や新興富裕層に愛され、名実共にハンガリー芸術を代表する存在となりました。

## 世紀転換期のヘレンド

1896年には「ハンガリー建国1000年祭」が催され、民族の伝統を見直すという社会的高揚の中で「ハンガリアン・ナショナル」文(fig.6)が誕生しました。様式化された石榴、チューリップ、カーネーション、菊、蔓草などからなるハンガリー独自の文様表現です。ヘレンド磁器でも描かれており、今回はメイン・モチーフとして展覧会場や図録、ポスターなどを飾っています。

20世紀初頭からの約半世紀は、社会情勢の大きな変化により高級磁器の制作が困難な時期が続きました。1989年の民主化後、ヘレンド窯では株式会社化、スタジオの設置と陶芸作家の採用などの新しい展開が見られます。会場では展覧会の締めくくりに、新世紀のヘレンドとして現代の陶芸作家による作品もご覧いただけます。



fig.4  
色絵金彩「皇帝」文コーヒースセット  
1860年頃 ポット高12.4cm ブダペスト国立工芸美術館



fig.5  
色絵金彩「ウエールズ」文蜥蜴飾りティーセット  
1874年 ポット高17.4cm ブダペスト国立工芸美術館



fig.6  
色絵金彩  
「ハンガリアン・ナショナル」文皿 1896年頃 口径25.0cm 個人蔵

本展では、ブダペスト国立工芸美術館、ヘレンド磁器美術館、ハンガリー国立博物館などの所蔵品約230点によりヘレンド窯190年の歴史と魅力をご紹介します。日本と中国に魅了されたヨーロッパ磁器、ヘレンドの多彩な魅力をお楽しみください。  
(大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課 野村恵子)

## 学芸員のおススメコレクション

### 大阪市立自然史博物館 養殖マガキ標本

鍋やフライの食材として人気のマガキ(いわゆる牡蠣)は、広島県をはじめ瀬戸内海各地で広く養殖されています。マガキの養殖は、穴を開けたホタテの殻に針金を通して海中に吊るし、殻の表面にマガキの子どもを着生させること(採苗という)から始まります。その後、干潟に設置した棚に移動させて数ヶ月程度吊るしたあと、沖合いに吊るし直し、1~3年間育成します。この標本は、広島県で養殖されている時の状態のまま保存処理を施したものです。左が採苗中、右が3年間の育成段階を経た出荷直前のもので、育成段階の方は展示用に2mの長さで切っていますが、全体は8~9mに及びます。

(大阪市立自然史博物館学芸員 石田 惣)

※今回紹介した資料は、7月15日(土)から10月15日(日)まで開催される特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ - 生き物のにぎわいとその恵み」で展示します。



養殖マガキ標本

大阪市立自然史博物館 ●所在地 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 ●TEL 06-6697-6221 ●FAX 06-6697-6225 ●アクセス 地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m。JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m ●ホームページ <http://www.mus-nh.city.osaka.jp>

大阪市立の博物館・美術館・動物園  
**Osaka Museums**  
<http://www.ocmo.jp/museums/>



大阪市立科学館 大阪市立美術館 天王寺動物園 大阪城天守閣  
大阪市立東洋陶磁美術館 大阪歴史博物館 大阪新美術館建設準備室  
大阪市立自然史博物館 大阪くらしの今昔館 大阪文化財研究所